

健康通信

不妊治療に関する不安や
悩みなどを一緒に考えませんか



生殖医療センター
臨床検査技師
臨床工芸ブリオロジスト
体外受精コーディネータ
(胚培養士)
藤田 京子

不妊治療を専門に行う「生殖医療センター」としてリニューアルしてから、一年半が経過しました。当センターではホルモン検査など一般検査から、タイミング療法、人工授精などの一般不妊治療、体外受精や顕微授精など生殖補助医療にも対応しています。また当センターでは治療だけでなく、体外受精コーディネータによる不妊治療に関する相談窓口として「個別相談」を行っています。今回はその「個別相談」について紹介します。

体外受精コーディネータについて

体外受精コーディネータとは、生殖医療に関する知識が医師や胚培養士と

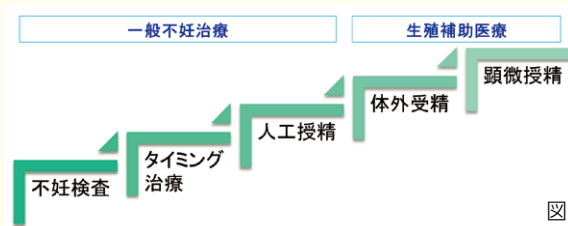
個別相談について

ほぼ同等であり、体外受精や顕微授精を受けられるご夫婦に対して、最適な治療を選択できるように情報提供を行う医療従事者のことです。
当センターの体外受精コーディネータは、胚培養士も兼務していますので、様々なご相談にお答えすることが可能です。

「個別相談」は、体外受精コーディネータが、不妊治療に関する不安や悩みなどを抱える患者さんに寄り添い、一緒に考えるための場所です。

不妊治療は、基本的に下図のように順次ステップアップしていきます。一般

不妊治療のタイミング療法や人工授精は半年間程度でステップアップしていきます。しかし、患者さんの中には、一般不妊治療では妊娠する可能性が低く早めのステップアップが必要であったり、一般不妊治療を行わず生殖補助医療が必要になったりすることもあります。



個別相談を利用される多くの方が、ステップアップした方が良いのか、今後どのように治療を進めていけばいいのかわかりず、体外受精・顕微授精にステップアップした場合やその費用、仕事と治療の両立などについて相談されます。また、治療に関して、診察時間内では質問できず詳細に知ることができないなどの場合も、医師に代わってご説明しています。

早期に妊娠に結びつくような治療の提案だけでなく、ご夫婦の気持ちを尊重した治療の相談も可能です。お一人でも悩まず、ぜひお気軽にご相談ください。

生殖医療センターの外来受診案内

診察・治療フロア 5階

診察時間 午前8時30分～午後3時30分

休診日 土・日曜日、祝日、年末年始

※当センターは、紹介状をお持ちでない方でも、当日午前11時30分までに来院いただければ、受診が可能です。

※市民病院ホームページにて、治療内容や治療実績等を紹介しています。

個別相談での質問内容の例

- ・不妊治療の種類は？
- ・ステップアップのタイミングは？
- ・人工授精の妊娠率は？
- ・人工授精と体外受精の違いは？
- ・体外受精・顕微授精の具体的な方法は？
- ・体外受精の妊娠率は？
- ・体外受精すると何回くらいで妊娠する？
- ・体外受精の費用は？

こんなこと聞いてもいいかな？

不安でいっぱい

どんな些細なことでもお話しください！